

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第1期実施計画の事業名	生活保護・自立支援事業		財務会計上の事業名	生活保護給付事業 (生活保護法にかかる援助等)	
(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号	3065	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	最低限度の生活を保障し、自立を助長する。
事業の対象 (誰を、何を)	生活困窮者
事業の手段・方法 (どのように)	生活保護法に基づき、生活費等を扶助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活保護法

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (決算)		27年度 (予算)		H26/H25
事業費(千円)		1,904,855		1,756,700		1,734,730		1,804,537		98.7%
主な 内訳	医療扶助費	884,611		815,113		822,173		857,422		100.9%
	生活扶助費	621,374		580,382		564,202		587,676		97.2%
	住宅扶助費	294,111		294,384		282,163		286,352		95.8%
人件費(人・千円)		8.21	47,138	7.59	43,002	5.86	32,160	7.09	40,726	77.2%
内 訳	正職員	5.21	40,638	4.46	34,788	3.22	25,116	4.26	32,376	72.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	2.63	7,364	1.91	5,539	2.13	6,390	72.6%
	非常勤職員	2.00	4,800		0	0.33	825	0.70	1,960	-
	アルバイト	1.00	1,700	0.50	850	0.40	680		0	80.0%
支 出 合 計 A		1,951,993		1,799,702		1,766,890		1,845,263		98.2%
財 源	国・府支出金	1,517,893		1,482,299		1,338,973		1,417,737		90.3%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	434,100		317,403		427,917		427,526		134.8%
一般財源比率 C÷A		22.2%		17.6%		24.2%		23.2%		137.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現状の法律では認められていない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指 標 値	実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護世帯数	世帯	735	696	672	710	720
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護率	%	9.58	8.92	8.39	9.2	9.3
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護人員	人	987	915	859	920	950
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		生活保護法により、最低限度の生活を保障されているため。							
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついて言及して記入)	法定数のケースワーカーにおいて、生活保護受給者に対して必要な支援を行っており、受給者の自立につなげている。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組 (平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	生活保護法により、最低限度の生活を保障する制度のため。	
現在抱える課題 とその対策	課 題	制度改正は毎年のように行われるが、生活保護世帯増加の要因に変化はない。
	対 策	国による抜本的な見直しが必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	国により生活保護法の一部改正は行われたが、生活保護世帯増加の要因に変化はない。今後も抜本的な見直しなどが検討課題	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第1期実施計画の事業名	生活保護給付・自立支援事業		財務会計上の事業名	生活保護給付事業(空調機等)	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号	2095	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	生活困窮者の生活向上
事業の対象(誰を、何を)	生活保護世帯
事業の手段・方法(どのように)	個室入院時の差額ベット代および空調機稼働費を扶助する。(法定外扶助)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活保護法, 池田市生活保護世帯空調和機器稼働費助成金交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		172		190		125		315		65.8%
主な内訳	生活保護世帯空調稼働費扶助	172		190		125		315		65.8%
										-
人件費(人・千円)		0.36	2,808	0.56	2,968	0.49	3,038	0.47	2,698	87.5%
内訳	正職員	0.36	2,808	0.28	2,184	0.33	2,574	0.28	2,128	117.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.28	784	0.16	464	0.19	570	57.1%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,980		3,158		3,163		3,013		100.2%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源	152		169		110		255		65.1%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,828		2,989		3,053		2,758		102.1%
一般財源比率 C÷A		94.9%		94.6%		96.5%		91.5%		102.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	対象世帯数が生活保護受給者のため、不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		扶助が必要な者	世帯	24	25	24	30	30
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		生活保護世帯の生活支援となっている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	空港防音対策の一環としての生活保護世帯に対しての事業であり、生活支援策として有効であるとする。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	生活保護の生活支援となっている。
現在抱える課題とその対策	課 題 特になし 対 策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	空港防音対策の一環であり、生活保護世帯の生活支援となっているため、空港存続の間は必要とする。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第1期実施計画の事業名	生活保護給付・自立支援事業		財務会計上の事業名		
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	就労に結びつける
事業の対象(誰を、何を)	就労可能な生活保護受給者
事業の手段・方法(どのように)	就労支援専門員による就労相談、求職情報の提供およびハローワークとの連携による支援
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		0		0		-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		1.05	3,615	1.18	4,704	1.16	5,467	1.12	5,626	98.3%
内訳	正職員	0.30	2,340	0.34	2,652	0.47	3,666	0.51	3,876	138.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0.09	252	0.19	551	0.21	630	211.1%
	非常勤職員		0	0.75	1,800	0.50	1,250	0.40	1,120	66.7%
	アルバイト	0.75	1,275		0		0		0	-
支出合計 A		3,615		4,704		5,467		5,626		116.2%
財源	国・府支出金	1,753		2,077		2,326		1,980		112.0%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,862		2,627		3,141		3,646		119.6%
一般財源比率 C÷A		51.5%		55.8%		57.5%		64.8%		102.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	就労支援業務
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	委託の場合、委託金額が高く、事業効果に見合わないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	就労支援した延人数	人	73	60	58	80	70
☆		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	就労した延人数	人	54	37	30	40	30
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		数値的には少ないが、対象者に対する達成度としては高いと考える。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	就労支援員とケースワーカー及びハローワークとの連携がスムーズにとれており、増収や就労に結びついている。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	現状就労支援員とケースワーカー及びハローワークとの連携がスムーズにとれており、増収や就労等、一定の成果に結びついている。
現在抱える課題とその対策	課 題 フルタイムでの就労でも収入が少ないという状況が多く、また、就労意欲の乏しい就労困難者が増加しているため、生活保護からの自立や就労に結びつけることが難しい。 対 策 最低賃金は引き上げられたが、働き方等根本的な見直しが必要と考える。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	就労には結びついているものの、就労時間が短い、収入が少ないパート就労が増加しており、生活保護の自立や就労に結びつけるのが難しくなっていることが課題

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課	担当課長名	安岡 一樹
(※)第1期実施計画の事業名	ホームレス自立支援事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051 2	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	大阪府・市町村ホームレス自立支援推進協議会の設置に基づき、ホームレスの自立を支援する
事業の対象(誰を、何を)	市内ホームレス
事業の手段・方法(どのように)	巡回相談等の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		0		0		-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.25	1,950	0.24	1,872	0.24	1,872	0.00	0	100.0%
内訳	正職員	0.25	1,950	0.24	1,872	0.24	1,872		0	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		1,950		1,872		1,872		0		100.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,950		1,872		1,872				100.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%				100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	大阪府が主体のため不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ホームレスの自立支援	人	1	2	2	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ホームレス緊急一時宿泊	泊	0	0	0	-
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	自立に向けた巡回相談・指導	日	21	46	42	41
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		巡回相談により、医療機関受診、施設入所、年金受給等、自立に結びついている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		巡回相談により、医療機関受診、施設入所、年金受給等、自立に結びついている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度より新事業へ移行。	
現在抱える課題とその対策	課 題	経済状況の悪化により、今後も住居喪失等でホームレスの増加が考えられる。
	対 策	巡回相談等を行い、ホームレスの早期発見、支援が必要と考える。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本市における定着型ホームレス数はH26年度末時点で2名であり、昨年同時期より1名増加。今後も住居喪失等でホームレスが増加が見込まれるため、ホームレス巡回相談の継続による早期発見支援実施は今後も必要と考える。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第1期実施計画の事業名	低所得者福祉給付事業		財務会計上の事業名	低所得者福祉給付事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	3	財務会計上の短縮番号	3065
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	生活困窮者の生活向上
事業の対象(誰を、何を)	生活困窮者
事業の手段・方法(どのように)	水洗便所改造資金を支給する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		0		200		-
主な内訳	生活困窮者水洗便所改造資金給付金							200		-
										-
人件費(人・千円)		0.16	1,248	0.13	1,014	0.10	780	0.08	608	76.9%
内訳	正職員	0.16	1,248	0.13	1,014	0.10	780	0.08	608	76.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,248		1,014		780		808		76.9%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,248		1,014		780		808		76.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	件数が少ないためアウトソーシング導入は不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水洗便所改造資金等	件	0	0	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		実績がないため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C (抜本的な見直しが必要) 有効的でない						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C (抜本的な見直しが必要) 効率的でない						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	件数は少ないが、必要な事業であると思われる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	水洗化が100%に達するまでは事業の存続は必要である。
現在抱える課題とその対策	課 題: 現状特に課題はないと思われる。 対 策:
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	現状において課題は見当たらないが、水洗便所改造資金給付金については、水洗化が100%に達するまでは事業の存続は必要である。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第1期実施計画の事業名	福祉貸付事業		財務会計上の事業名	福祉貸付事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	4	財務会計上の短縮番号	2080
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	低所得者世帯の生活意欲の高揚と経済的自立を図る。
事業の対象(誰を、何を)	低所得者世帯
事業の手段・方法(どのように)	生活つなぎ資金(25万円限度)、入学準備金(30万円限度)、交通遺児奨学資金(1人月額2千円を中学卒業までの貸付を行う)。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市福祉貸付金条例, 池田市交通遺児奨学資金貸付条例

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		2,561	2,521	4,268	5,758	169.3%				
主な内訳	生活資金貸付金	2,200	1,560	2,350	3,750	150.6%				
	高等学校入学準備金貸付金	300	900	1,800	1,500	200.0%				
	消耗品費	61	61	60	63	98.4%				
人件費(人・千円)		0.57	4,446	0.52	4,056	0.47	3,666	0.34	2,584	90.4%
内訳	正職員	0.57	4,446	0.52	4,056	0.47	3,666	0.34	2,584	90.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		7,007	6,577	7,934	8,342	120.6%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他財源	4,333	3,122	2,573	5,280	82.4%				
	うち受益者負担 B					-				
	一般財源 C	2,674	3,455	5,361	3,062	155.2%				
一般財源比率 C÷A		38.2%	52.5%	67.6%	36.7%	128.6%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	低所得者の福祉的な事業のため、不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		生活つなぎ資金	件	10	7	12	15	15
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果		高等学校入学準備金	件	1	1	6	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		対象者に必要な支援を行えた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		滞納者の増加。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	経済状況の悪化により生活つなぎ資金で自立生活を送れたり、高等学校入学準備金による教育、子育て支援施策として効果がある。
現在抱える課題とその対策	課 題 滞納者の増加。 対 策 債権整理にむけて対策が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	低所得者には今後必要な事業ではあるが、滞納者の増加に伴い債権整理の対策が課題である。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第1期実施計画の事業名	離職者住宅手当給付事業		財務会計上の事業名	離職者住宅手当給付事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	5	財務会計上の短縮番号	2150
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	安定した住居を確保し、就職活動を安心して行うことができるようにする。
事業の対象(誰を、何を)	2年以内に離職した者で、住居を喪失しているか、もしくは喪失する恐れのある者
事業の手段・方法(どのように)	生活保護の住宅扶助基準を根拠に、家賃相当額の住宅手当を給付する。 (上限単身:42,000円・複数世帯55,000円で実家賃額)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		7,855		2,974		3,777		2,276		127.0%
主な内訳	扶助費	7,855		2,974		3,777		2,276		127.0%
	(例)修繕費									-
	(例)消耗品費									-
人件費(人・千円)		0.42	1,751	0.45	2,160	0.52	3,155	0.01	76	115.6%
内訳	正職員	0.17	1,326	0.20	1,560	0.35	2,730	0.01	76	175.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.25	600	0.17	425		0	68.0%
	アルバイト	0.25	425		0		0		0	-
支出合計 A		9,606		5,134		6,932		2,352		135.0%
財源	国・府支出金	7,854		2,973		3,776		2,276		127.0%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,752		2,161		3,156		76		146.0%
一般財源比率 C÷A		18.2%		42.1%		45.5%		3.2%		108.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	事業全般
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	委託の場合、委託金額が高く、効果に見合わないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	単身世帯延件数	件	111	44	44	28	—
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	複数世帯延件数	件	72	28	42	20	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		住居喪失の恐れのある者に対して、一定の支援を行えた。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	現在の社会情勢から今後も失職、住居喪失の可能性のある者の増加が見込まれるため							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	平成27年度より、生活困窮者自立支援制度に基づく、必須事業として実施。
現在抱える課題とその対策	課 題 今後、委託事業としての検討が必要。 対 策 部内で委託か直営か、及び委託先の選定等検討が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	平成27年度より生活困窮者自立支援法に基づき、各市において必須事業となる。担当部署設置に伴い、直営か委託かを検討する必要がある。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第1期実施計画の事業名	中国残留邦人生活支援給付事業		財務会計上の事業名	中国残留邦人生活支援給付事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	6	財務会計上の短縮番号	3066	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	日常生活又は社会生活を円滑に営むことができるようにする。
事業の対象(誰を、何を)	中国残留邦人である生活困窮者
事業の手段・方法(どのように)	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律に基づき、生活費等を扶助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		0		4,311		-
主な内訳	生活扶助費	0		0		0		1,848		-
	医療扶助費	0		0		0		1,623		-
	住宅扶助費	0		0		0		660		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	-
内訳	正職員	0		0		0		0		-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
アルバイト		0		0		0		0		-
支出合計 A		0		0		0		4,311		-
財源	国・府支出金							3,233		-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0		0		0		1,078		-
一般財源比率 C÷A								25.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現状の法律では認められていない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	対象者	人	0	0	0	0	0
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		対象者がいないため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		対象者はいないが、法により最低限度の生活が保障された有効な制度である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	法により、最低限度の生活を保障する制度のため。
現在抱える課題とその対策	課題 現在、対象者が存在しない状況であるが、近年の社会情勢から生活保護世帯は増加しており、中国残留邦人等の対象者も今後出てくる可能性はある。 対策 生活保護法の抜本的な見直しとともに、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の見直しについても検討課題である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	現在、対象者が存在しない状況であるが、近年の社会情勢から生活保護世帯は増加しており、中国残留邦人等の対象者も今後出てくる可能性はある。生活保護法の抜本的な見直しとともに、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の見直しについても検討課題である。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	助産施設入所事業	財務会計上の事業名	助産施設入所事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051 7	財務会計上の短縮番号	2986
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	妊産婦を助産施設に入所させ、助産措置を行うことを目的とする
事業の対象(誰を、何を)	保健上必要のある場合や、経済的な理由により入院助産が受けられない妊産婦
事業の手段・方法(どのように)	助産費用の扶助
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和43年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童福祉法、児童福祉法による助産の実施に関する規則、児童福祉法による費用の徴収に関する規則

2 事業費等

区 分		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25
事業費(千円)		340	0	280	1,639	-
主な内訳	助産施設扶助費	340	0	280	1,639	-
						-
人件費(人・千円)		0.17 786	0.10 780	0.02 103	0.11 356	20.0%
内訳	正職員	0.07 546	0.10 780	0.01 78	0.01 76	10.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0.10 240	0 0	0.01 25	0.10 280	-
	アルバイト	0 0	0 0	0 0	0 0	-
支出合計 A		1,126	780	383	1,995	49.1%
財源	国・府支出金	254	0	210	1,165	-
	地方債					-
	その他財源				83	-
	うち受益者負担 B				83	-
	一般財源 C	872	780	173	747	22.2%
一般財源比率 C÷A		77.4%	100.0%	45.2%	37.4%	45.2%
受益者負担率 B÷A					4.2%	-
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済 平成26年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	平成27年1月の産科医療補償制度改定による出産一時金の変更により、受益者負担が80,200円から83,000円に増額					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	特別な事情を要する妊産婦を対象としているため、アウトソーシングは馴染まない

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	1	0	1	4	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		保健上必要のある場合や、経済的な理由により入院助産が受けられない妊産婦を対象としているため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	児童福祉法により制度化され実施を義務付けられているため							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年1月の産科医療補償制度改定による出産一時金の変更により、受益者負担が80,200円から83,000円に増額	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	児童福祉法により制度化され実施を義務付けられているため	
現在抱える課題とその対策	課 題	産後も経済的困窮状態が変わらず、継続して生活再建への支援が必要な事例が多い
	対 策	保健師や児童相談担当、生活保護担当等と連携しながら、子育てや経済面等の支援を行っている
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	経済的な理由で病院等に入院できない妊産婦を対象に、助産施設(指定病院)で助産を行う児童福祉法に定められた制度。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	藤井 彰三
(※)第1期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	小学校就学援助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	8	財務会計上の短縮番号	6180
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	児童の円滑な就学及び特別支援教育の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で学校諸費用の納付が困難な児童及び特別支援学級在籍児童の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(学用品費、給食費、修学旅行費等)及び特別支援教育就学奨励費を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和39年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校教育法第19条、池田市就学援助費支給要綱、池田市特別支援教育就学奨励費支給要綱

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		30,808		29,894		29,671		40,855		99.3%
主な内訳	学用品費	6,504		6,134		5,950		8,108		97.0%
	学校給食費・修学旅行費	19,507		18,817		18,260		24,612		97.0%
	特別支援教育就学奨励費	4,797		4,943		5,461		8,135		110.5%
人件費(人・千円)		0.22	1,716	0.21	1,028	0.21	1,333	0.42	1,974	100.0%
内訳	正職員	0.22	1,716	0.11	858	0.16	1,248	0.22	1,634	145.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0	0.10	170	0.05	85	0.20	340	50.0%
支出合計 A		32,524		30,922		31,004		42,829		100.3%
財源	国・府支出金	1,137		1,609		2,692		3,672		167.3%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		31,387		29,313		28,312		39,157		96.6%
一般財源比率 C÷A		96.5%		94.8%		91.3%		91.4%		96.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業の申請受付は各市立小学校にて行っている上に、制度の性質上各学校ごとの対象者及び申請件数は少数であるため、アウトソーシングの導入による効果が見込めない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要保護・準用保護児童への援助人数	人	423	414	413	468	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別支援学級児童への援助人数	人	173	173	198	313	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報誌を活用した周知	回	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		成果に対する遺漏の有無については、活動指標で示した広報誌のほか、入学説明会への出席者全世帯への案内配布や生活保護担当部署による制度案内等により補完することで、制度の周知徹底と制度利用への促しにより、制度上予定する目的を概ね達成したと考えるため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		事業実施については法制度上定められていることから、それに必要な手続においては裁量の余地が無いものも多くなかで、受付事務を各学校において行うことで、本事業の適用を正に必要とする世帯に対するきめ細やかなサービスを展開できているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づく国庫補助対象事業であるため。
現在抱える課題とその対策	課題 慢性的な景気の低迷を受け、就学に当たり経済的な援助を必要とする世帯は依然として多く、制度趣旨に鑑みても今後とも継続すべき事業と考えるからこそ、限られた予算をいかに効果的に執行するかが鍵であると認識している。 対策 関係書類の手続きを漫然と行うことにより経済的理由による就学困難者以外の対象者について認定することが無いよう、学校での受付時及び教育委員会事務局への書類の回送時においてチェック又は審査を確実に実行していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	学齢児童を扶養する世帯の中で、その就学について経済的な負担となっているものも依然として多いと認識している。国民の就学義務及び地方公共団体に課せられた援助義務もさることながら、将来を担う児童達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 保健給食課		担当課長名	塩山 宏司
(※)第1期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	小学校就学援助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	8	財務会計上の短縮番号	6180
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

0

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	児童の円滑な就学を図る
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で対象疾患について医療費を支出することが困難な児童の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(医療費)を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和39年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校保健安全法第24条・第25条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		565	389	468	260	120.3%				
主な内訳	学校医療費	565	389	468	260	120.3%				
						-				
人件費(人・千円)		0.13	953	0.22	1,106	0.18	763	0.13	668	81.8%
内訳	正職員	0.12	936	0.12	936	0.05	390	0.05	380	41.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.08	288	0.08	288	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.01	17	0.10	170	0.05	85		0	50.0%
支出合計 A		1,518	1,495	1,231	928			82.3%		
財源	国・府支出金			18	30			-		
	地方債							-		
	その他財源							-		
	うち受益者負担 B							-		
	一般財源 C	1,518	1,495	1,214	898			81.2%		
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	98.6%	96.8%			98.6%		
受益者負担率 B÷A								-		
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	申請受付は学校にて行っており、学校ごとの件数も件数も少ないため、委託になじまないと考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要・準要保護児童への援助人数	人	207	131	172	205	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		児童の円滑な就学を図ることができたため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	学校教育法第19条の「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」の規定から継続が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度より、児童医療助成制度の活用により予算減	
現在抱える課題とその対策	課 題	非課税世帯やひとり親家庭で、経済的に困窮している家庭が依然として多い。
	対 策	今後とも、国や府の動向を見据えて迅速に対応していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	児童の教育の機会均等の観点からも本事業の継続が必要である。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	藤井 彰三
(※)第1期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	中学校就学援助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	8	財務会計上の短縮番号	6300
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	生徒の円滑な就学及び特別支援教育の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で学校諸費用の納付が困難な生徒及び特別支援学級在籍児童の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(学用品費、給食費、修学旅行費等)及び特別支援教育就学奨励費を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和39年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校教育法第19条、池田市就学援助費支給要綱、池田市特別支援教育就学奨励費支給要綱

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		20,139		20,023		34,096		41,456		170.3%
主な内訳	学用品費	9,873		9,691		10,064		11,412		103.8%
	学校給食費・修学旅行費	8,931		8,966		21,311		25,611		237.7%
	特別支援教育就学奨励費	1,335		1,366		2,721		4,580		199.2%
人件費(人・千円)		0.22	1,594	0.21	1,028	0.21	1,333	0.42	1,974	100.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.11	858	0.16	1,248	0.22	1,634	145.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.02	34	0.10	170	0.05	85	0.20	340	50.0%
支出合計 A		21,733		21,051		35,429		43,430		168.3%
財源	国・府支出金	642		573		1,511		2,499		263.7%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	21,091		20,478		33,918		40,931		165.6%
一般財源比率 C÷A		97.0%		97.3%		95.7%		94.2%		98.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業の申請受付は各市立中学校にて行っている上に、制度の性質上各学校ごとの対象者及び申請件数は少数であるため、アウトソーシングの導入による効果が見込めない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要保護・準用保護生徒への援助人数	人	310	314	333	341	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別支援学級生徒への援助人数	人	47	53	64	128	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報誌を活用した周知	回	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		成果に対する遺漏の有無については、活動指標で示した広報誌のほか、入学説明会への出席者全世帯への案内配布や生活保護担当部局による制度案内等により補完することで、制度の周知徹底と制度利用への促しにより、制度上予定する目的を概ね達成したと考えるため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	事業実施については法制度上定められていることから、それに必要な手続においては裁量の余地が無いものも多くなかで、受付事務を各学校において行うことで、本事業の適用を正に必要とする世帯に対するきめ細やかなサービスを展開できているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づく国庫補助対象事業であるため。
現在抱える課題とその対策	課題 慢性的な景気の低迷を受け、就学に当たり経済的な援助を必要とする世帯は依然として多く、制度趣旨に鑑みても今後とも継続すべき事業と考えるからこそ、限られた予算をいかに効果的に執行するかが鍵であると認識している。 対策 関係書類の手続きを漫然と行うことにより経済的理由による就学困難者以外の対象者について認定することが無いよう、学校での受付時及び教育委員会事務局への書類の回送時においてチェック又は審査を確実にしていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	学齢生徒を扶養する世帯の中で、その就学について経済的な負担となっているものも依然として多いと認識している。国民の就学義務及び地方公共団体に課せられた援助義務もさることながら、将来を担う児童達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 保健給食課		担当課長名	塩山 宏司
(※)第1期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	中学校就学援助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	8	財務会計上の短縮番号	6300
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	生徒の円滑な就学を図る
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で対象疾患について医療費を支出することが困難な生徒の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(医療費)を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和39年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校保健安全法第24条・第25条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		144	163	123	302	75.5%
主な内訳	学校医療費	144	163	123	302	75.5%
						-
						-
人件費(人・千円)		0.13 953	0.22 1,106	0.18 805	0.13 708	81.8%
内訳	正職員	0.12 936	0.12 936	0.06 468	0.06 456	50.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0.07 252	0.07 252	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	アルバイト	0.01 17	0.10 170	0.05 85	0 0	50.0%
支出合計 A		1,097	1,269	928	1,010	73.1%
財源	国・府支出金				6	-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	1,097	1,269	928	1,004	73.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	99.4%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	申請受付は学校にて行っており、学校ごとの件数も少ないため、委託になじまないと考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要・準要保護児童への援助人数	人	46	44	40	51	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		生徒の円滑な就学を図ることができたため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	学校教育法第19条の「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」の規定から継続が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年7月より中学生も児童医療費助成の対象となるため、その活用を行っていく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	非課税世帯やひとり親家庭で、経済的に困窮している家庭が依然として多い。
	対 策	今後とも、国や府の動向を見据えて迅速に対応していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	生徒の教育の機会均等の観点からも本事業の継続が必要である。27年7月より中学生も児童医療費助成の対象となるため、今後その活用を行い予算を削減して行く。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	藤井 彰三	
(※)第1期実施計画の事業名	就学就園助成事業		財務会計上の事業名	就学就園助成事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051	9	財務会計上の短縮番号	5990	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ( )	<input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	経済的負担を軽減することにより、就学・就園を促進		
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由のため学資の支弁が困難な高校生及び大学生並びに経済的に恵まれない小学校6年生及び中学校3年生並びに小学校3年生までに兄・姉を有する市立幼稚園就園児		
事業の手段・方法(どのように)	高校生及び大学生に対して「くすのき・さつき奨学金」を、小学校6年生及び中学校3年生に対して「武田育英学資金」を、上記就園児に対して「幼稚園就園奨励費補助金」をそれぞれ支給		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和41年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度	<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	くすのき奨学金条例、さつき奨学金支給規則、武田育英基金条例		

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)		27年度 (予算)	H26/H25	
事業費(千円)		8,831	9,171	16,126		17,118	175.8%	
主な内訳	賞賜金	8,831	9,171	9,486		10,533	103.4%	
	補助金	0	0	5,640		6,585	-	
人件費(人・千円)		0.08	319	0.21	1,028	0.42	1,974	100.0%
内訳	正職員	0.03	234	0.11	858	0.16	1,248	145.5%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0		0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0		0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0		0	-	
	非常勤職員	0	0	0		0	-	
アルバイト		0.05	85	0.10	170	0.20	340	50.0%
支出合計 A		9,150	10,199	17,459		19,092	171.2%	
財源	国・府支出金		60	1,597			2661.7%	
	地方債						-	
	その他財源	5,765	5,791	5,710		5,809	98.6%	
	うち受益者負担 B						-	
一般財源 C		3,385	4,348	10,152		13,283	233.5%	
一般財源比率 C÷A		37.0%	42.6%	58.1%		69.6%	136.4%	
受益者負担率 B÷A							-	
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容			
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	くすのき・さつき奨学金にあっては、高校生については学校推薦により、また大学生については1か月間の募集により、それぞれ対象者選定を行っている。武田育英学資金にあっては、小学生及び中学生いずれについても学校推薦により対象者を選定している。就園奨励費にあっては、住民基本台帳の確認による全対象世帯の抽出作業によっている。従って、事務の煩雑期は一過性であり、費用対効果が見込めないため。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	くすのき・さつき奨学金の支給人数(大学)	人	29	28	28	18	32
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	くすのき・さつき奨学金の支給人数(高校)	人	126	147	160	189	144
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	武田育英学資金の支給人数	人	16	16	16	16	16
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	新規申請者数(奨学金)	人	71	73	84	80	80
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	幼稚園就園奨励費補助金の支給人数	人	—	—	150	150	150
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		支給人数については、目標を達しなかったものの、一方で新規申請者数については、毎年の増加を経て、最終的に達成したところ。支給結果については、申請者の経済状況等に左右されることから、周知努力が実ったものとして、選択したもの。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(根本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(根本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	経済的負担の軽減という本事業の目的に鑑み、その手法を現金給付としていることに加え、その対象者の選考については適切な選考が行われていることから、必要十分な事業執行がなされていると考える。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度	<input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	国及び府の施策において、公立高校授業料無償化及び私立高校授業料無償化(所得制限あり)に伴い、公私立高校生に関する支給額を同一化	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づく国庫補助対象事業であるため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	奨学金については、慢性的な景気の低迷を受け、就学に当たり経済的な援助を必要とする世帯は依然として多く、限られた予算を如何に効果的に執行するか。幼稚園就園奨励費補助金については、子ども子育て新システム下における、保護者負担のあり方とそれに伴う補助制度の今後のあり方
	対 策	奨学金については、関係書類の手続きを漫然と行うことにより経済的理由による就学困難者以外の対象者について認定することが無いよう、学校での受付時及び教育委員会事務局への書類の回送時においてチェック又は審査を確実にを行う。また、幼稚園就園奨励費補助金については、多子世帯に特化しない全世帯に係る幼児保育に要する費用負担のあり方について、検討を重ねる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	社会経済情勢について好転する兆しがない中で、未就学児童及び学齢児童を扶養する世帯には、その就学・就園について経済的な負担となっている場合が散見されるなかで、国民の就学義務や地方公共団体に課せられた就園促進、就学援助義務もさることながら、子ども達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第1期実施計画の事業名			財務会計上の事業名	生活保護受給者等進学支援事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2051		財務会計上の短縮番号	2154	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	対象者に大学進学への支援を行い、被保護者世帯等の自立の促進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	生活保護受給者及び児童扶養手当受給世帯の大学進学を希望する高校3年生
事業の手段・方法(どのように)	大学受験のための学習塾入学金、授業料の助成を行う。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成24年度～平成28年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市生活保護受給者等進学支援給付要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		1,510		2,140		1,761		2,000		82.3%
主な内訳	生活保護受給者等進学支援扶助費	1,510		2,140		1,761		2,000		82.3%
										-
人件費(人・千円)		0.15	1,170	0.39	3,042	0.33	2,574	0.47	3,092	84.6%
内訳	正職員	0.15	1,170	0.39	3,042	0.33	2,574	0.37	2,812	84.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0	0.10	280	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,680		5,182		4,335		5,092		83.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源			1,500		1,761				117.4%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,680		3,682		2,574		5,092		69.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		71.1%		59.4%		100.0%		83.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	低所得世帯の福祉的な事業のため、不可能と思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	支援をした人数	人	5	7	5	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	大学合格者	人	4	7	5	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		制度利用が着実に大学入学に結びついている。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	制度利用が着実に大学入学に結びついており、貧困の連鎖解消の一助となっていると考える。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現状モデル事業として実施中であり、現制度により着実に大学入学に結びついている。	
現在抱える課題とその対策	課 題	本事業における効果等測定の必要性
	対 策	今後、本事業の効果や必要性を調査し、事業の継続の可否を検討していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	大学合格となって、成果を得ている。ただ、大学入学後の協力が消極的である不安もあり、今後は効果や必要性、問題点を整理し、具体的に調査を行い、事業の継続を検討したい。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	母子自立支援事業	財務会計上の事業名	-
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052 1	財務会計上の短縮番号	-
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	ひとり親家庭の自立支援
事業の対象(誰を、何を)	母子家庭の母および父子家庭の父
事業の手段・方法(どのように)	自立支援相談業務
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成15年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法

2 事業費等

区 分		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25
事業費(千円)		0	0	0	0	-
主な内訳						
人件費(人・千円)		0.30 720	0.21 558	0.33 984	0.38 1,456	157.1%
内訳	正職員	0	0.01 78	0.03 234	0.10 760	300.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.30 720	0.20 480	0.30 750	0.20 560	150.0%
アルバイト		0	0	0	0.08 136	-
支出合計 A		720	558	984	1,456	176.3%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	720	558	984	1,456	176.3%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	相談件数	件	397	526	519	500	-
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		離婚前後の経済的な対応や養育等、ひとり親家庭が抱える問題への相談を受けていることで、自立支援につながっているため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	相談者の要望に応じて、有効な支援策を案内する等、自立に向けて適切な助言を行っている							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	父子家庭の父が対象に加わる
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある
現在抱える課題とその対策	課題 家庭によって生活環境も抱える課題も多岐に渡るため、個別の状況に応じて適切な助言・支援を行うことができる体制の強化が必要 対策 ひとり親家庭の経済力向上を図るため、自立支援プログラム策定事業や自立支給付金事業を活用する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	ひとり親家庭・寡婦の自立に必要な相談や支援を行う事業として、母子自立支援プログラム策定事業との統合を検討。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	母子自立支援プログラム策定事業	財務会計上の事業名	-
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052 2	財務会計上の短縮番号	-
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	児童扶養手当受給者に対し、継続的な自立・就労支援を実施することを目的とする
事業の対象(誰を、何を)	生活保護受給以外の者で、児童扶養手当を受給及び同等の要件を満たしている母子家庭の母及び父子家庭の父
事業の手段・方法(どのように)	母子自立支援員と職業安定所が連携し、自立に必要な情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成15年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法、池田市母子自立支援プログラム策定事業実施要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		0		0		0		0		-
主 な 内 訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.20	480	0.50	1,200	0.42	1,156	0.22	712	84.0%
内 訳	正職員		0		0	0.02	156	0.02	152	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.20	480	0.50	1,200	0.40	1,000	0.20	560	80.0%
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		480		1,200		1,156		712		96.3%
財 源	国・府支出金	80		80		140		100		175.0%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	400		1,120		1,016		612		90.7%
一般財源比率 C÷A		83.3%		93.3%		87.9%		86.0%		94.2%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	4	4	7	5	6
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		転職希望者や求職者から、職業能力の向上及び求職活動に関する支援等の要望があったため							
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	法に基づき市が母子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要がある。また、継続的な自立・就労支援の一助となっている							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成23年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	父子家庭の父が対象に加わる
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある
現在抱える課題とその対策	課 題 相談者によって就労経験や技能、家庭内の生活状況等、抱える課題が多岐に渡るため、個別の状況に応じて適切な助言・支援を行うことができる体制の強化が必要 対 策 ひとり親家庭の技能習得を図るため、自立支給付金事業や職業訓練を活用する。また、個別の状況に応じた就労ができるよう、ハローワークや子育て支援部局で連携を図る
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	ひとり親家庭・寡婦の自立に必要な相談や支援を行う事業として、母子自立支援事業との統合を検討。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	児童扶養手当給付事業	財務会計上の事業名	児童扶養手当給付事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052 3	財務会計上の短縮番号	2985
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進
事業の対象(誰を、何を)	主に18歳までの児童を養育しているひとり親家庭や、父また母が一定程度の障がいの状態にある家庭の父母
事業の手段・方法(どのように)	児童扶養手当の支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成14年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童扶養手当法

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		366,928		362,379		358,832		381,861		99.0%
主な内訳	児童扶養手当	361,534		357,110		351,435		380,860		98.4%
	設備保守点検委託料(電算委託料)	780		675		3,178		695		470.8%
	機器借上料	4,551		4,551		4,172				91.7%
人件費(人・千円)		2.99	11,122	3.05	11,050	3.22	11,856	2.94	10,525	105.6%
内訳	正職員	0.99	7,722	0.95	7,410	1.02	7,956	0.92	6,992	107.4%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.10	240	0.20	500	0.09	252	200.0%
アルバイト		2.00	3,400	2.00	3,400	2.00	3,400	1.93	3,281	100.0%
支出合計 A		378,050		373,429		370,688		392,386		99.3%
財源	国・府支出金	120,487		119,171		117,114		126,953		98.3%
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	257,563		254,258		253,574		265,433		99.7%
一般財源比率 C÷A		68.1%		68.1%		68.4%		67.6%		100.5%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	窓口業務、現況届受付業務等
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	窓口業務、現況届受付業務をアウトソーシングにすることで、担当職員が審査・認定事務に専念できる
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	対象人数	件	882	861	871	920	876
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況			<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由			児童扶養手当法の要請に基づく事業のため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		ひとり親家庭の生活の安定や自立の促進につながっている。児童扶養手当法の要請に基づく事業のため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	平成26年12月の法改正により、児童扶養手当額が公的年金額より低い場合、その差額が受給できるようになった
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	児童扶養手当法の要請に基づく事業のため
現在抱える課題とその対策	課題:生活の安定や自立の促進にはつながっているものの、社会情勢としては多くのひとり親家庭が慢性的な貧困状態に陥っている 対策:新規申請・現況届時の聞き取りで支援への要望をくみ上げ、母子・父子自立支援員や子育て関連部局等を案内し、生活の安定や自立の促進への取り組みにつなげていく
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	引き続き、児童扶養手当法の趣旨に沿って適正な認定・支給事務を行い、ひとり親家庭の生活の安定や自立の促進に努める

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	母子生活支援施設入所事業	財務会計上の事業名	母子生活支援施設入所事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052 4	財務会計上の短縮番号	2987
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	母子家庭の自立支援を図る
事業の対象(誰を、何を)	配偶者のいない女性、またこれに準ずる事情のある女性と監護すべき児童(家庭内暴力の事例も含む)
事業の手段・方法(どのように)	施設入所により措置(池田子ども家庭センターと連携)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成22年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童福祉法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、児童福祉法による母子保護の実施に関する規則、児童福祉法による費用の徴収に関する規則

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		0	0	0	1,230	-
主な内訳	母子扶助費	0	0	0	1,230	-
						-
						-
人件費(人・千円)		0.20 750	0.01 78	0.05 231	0.22 712	500.0%
内訳	正職員	0.05 390	0.01 78	0.02 156	0.02 152	200.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0.15 360	0 0	0.03 75	0.20 560	-
	アルバイト	0 0	0 0	0 0	0 0	-
支出合計 A		750	78	231	1,942	296.2%
財源	国・府支出金				921	-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	750	78	231	1,000	296.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	51.5%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済 平成26年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		国の要綱に合わせて、非課税世帯徴収金額を0円から1,100円に改定				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	DV被害者等、特別な配慮を要する家庭を支援するため、アウトソーシングは馴染まない

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	0	0	0	3	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		配偶者のいない女性、またこれに準ずる事情のある女性と監護すべき児童を対象としているため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	児童福祉法による母子保護の実施に関する事業のため現状のまま継続が必要						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	国の要綱に合わせて、非課税世帯徴収金額を0円から1,100円に改定
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	児童福祉法による母子保護の実施に関する事業のため現状のまま継続が必要
現在抱える課題とその対策	課 題 施設が市外で遠方にあり、自立に向けての決め細やかな支援・指導が難しい。また、比較的に入所しやすい施設は、都心部から離れていて、利用者の就職活動を阻害している 対 策 入所施設等と連携し、きめ細かい支援・指導を努力する。また、他の有効な支援策が適用できるよう情報収集に努める
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	家庭内暴力等の被害から母子を保護するための、児童福祉法に定められた事業。実施を継続。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤田 恵子
(※)第1期実施計画の事業名	母子家庭自立支援給付事業	財務会計上の事業名	母子家庭等自立支援給付金事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052 5	財務会計上の短縮番号	3001
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	資格修得により、安定した就労または増収を図り、母等の自立を促進することを目的とする
事業の対象(誰を、何を)	母子家庭の母および父子家庭の父
事業の手段・方法(どのように)	教育訓練講座受講者または資格取得のため養成機関での修業者に給付金を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成18年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法、池田市ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、池田市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等支給事業実施要綱

2 事業費等

区 分		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25
事業費(千円)		5,163	7,237	5,420	10,592	74.9%
主な内訳	補助金【民生費】	5,163	7,237	5,420	10,592	74.9%
						-
人件費(人・千円)		0.24 792	0.23 714	0.07 281	0.23 788	30.4%
内訳	正職員	0.04 312	0.03 234	0.02 156	0.03 228	66.7%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0.20 480	0.20 480	0.05 125	0.20 560	25.0%
	アルバイト	0 0	0 0	0 0	0 0	-
支出合計 A		5,955	7,951	5,701	11,380	71.7%
財源	国・府支出金	3,872	5,428	4,064	8,044	74.9%
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	2,083	2,523	1,637	3,336	64.9%
一般財源比率 C÷A		35.0%	31.7%	28.7%	29.3%	90.5%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	6	5	5	13	9
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		当初予想していたより申請が少なかったため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	資格修得後の世帯の所得水準は向上しており、社会的自立を促す効果が認められる							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	父子家庭の父が対象に加わる
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある
現在抱える課題とその対策	課 題 資格修得の要望があっても、修学費等の諸問題で要件に該当せず事業対象に至らないケースもある 対 策 自立支援プログラム策定事業を活用し自立に向けての就労計画を立てつつ、ハローワーク等の公的機関が主催する職業訓練講座を案内する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	資格取得のための経費を支援するもので、ひとり親の自立と生活の安定に有効。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 保険医療課		担当課長名	玉手 邦至
(※)第1期実施計画の事業名	ひとり親家庭医療事業		財務会計上の事業名	ひとり親家庭医療事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	2052	6	財務会計上の短縮番号	2480
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	受給者の医療費負担を軽減することにより、健康の保持と生活の安定、福祉の増進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	18歳に達した年度末までにある子とその母または父及び養育者のうち、所得制限を満たす方
事業の手段・方法(どのように)	入院・通院に係る健康保険適用後の自己負担額から規則で定める自己負担額を差し引いた金額および食事療養費(標準負担額)を助成する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和55年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府ひとり親家庭医療費助成要領・池田市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25			
事業費(千円)	62,201	62,782	64,139	72,566	102.2%			
主な内訳	手数料	1,990	1,737	1,717	2,252	98.8%		
	電算委託料	2,721	2,755	2,834	2,858	102.9%		
	ひとり親家庭医療扶助費	52,465	53,264	54,971	67,363	103.2%		
人件費(人・千円)	0.80	5,020	0.80	5,020	0.80	4,900	100.0%	
内訳	正職員	0.60	4,680	0.60	4,680	0.60	4,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	-
アルバイト	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%	
支出合計 A	67,221	67,802	69,159	77,466	102.0%			
財源	国・府支出金	27,882	27,904	28,191	35,146	101.0%		
	地方債	0	0	0	0	-		
	その他財源	0	0	0	0	-		
	うち受益者負担 B	0	0	0	0	-		
	一般財源 C	39,339	39,898	40,968	42,320	102.7%		
一般財源比率 C÷A	58.5%	58.8%	59.2%	54.6%	100.7%			
受益者負担率 B÷A					-			
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し							
上記の内容	大阪府の医療費助成制度と同一内容で実施しているため。(同一医療機関で入院・通院とも月2回まで各500円(上限)の負担)							

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	医療証の発行や更新、医療費助成の申請受付業務等
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	他医療(児童医療や老人医療、障がい者医療など)の業務と一括して委託に切り替えることで、コストを削減できる可能性があるため。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	対象者	人	1,926	1,889	1,918	2,050	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	一人当たり年間給付額	円	27,240	28,196	28,661	32,860	—
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	対象者把握	%	100	100	100	100	—
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	申請	%	100	100	100	100	—
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		医療費負担を軽減できたため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	医療費の一部を助成することで、対象者が必要とする医療を容易に受けることができる。事業の効率性については、他の医療とともに簡易な業務等を外部委託することにより、事務の効率化が見込める。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	対象者が必要とする医療を容易に受けることができるように、引き続き事業を継続していく。	
現在抱える課題とその対策	課題	対象者や受診機会の増加に伴う窓口業務及び処理業務の増加、医療の高度化等による扶助費の増加。
	対策	簡易な業務等の外部委託化。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	近年の社会情勢によりひとり親家庭は増加傾向にあることから、今後も対象者数や事務経費、扶助費の増加を見込んでいる。この状況でセーフティネットである当事業を継続していくためには、窓口業務の効率化など、コストの削減による事業費部分の圧縮が必要だと考えている。	